

のど自慢で国際交流 一宮



㊦ミュージカル曲を力強く歌い上げる葛谷さん ㊧中国語で熱唱する呉さん＝いずれも一宮市の尾西市民会館で

中国籍の呉さん最優秀賞

母国語の歌とお国自慢を披露する「国際交流のど自慢大会」が十八日、一宮市尾西市民会館で開かれた。日本と中国籍の計六組が出場し、それぞれの「十八番」を披露した。

中国籍の参加者は、北名古屋市長在任で、名古屋芸術大大学院一年の呉依玲さん(㊧)。日本の歌を学ぶために来日した。舞台では、中国の良いところを「北京ダックや小籠包などの料理や美しい風景」とPR。モンゴルの自然をたたえる歌「敕勒歌」を披露した。

ホール中に響き渡る美声で観客を圧倒し、最優秀賞に選ばれた。呉さんは「きれいな声が出せたと思う。拍手もたくさんもらえてうれしかった」と喜んだ。

一宮市からは「劇団シンデレラ」団員の葛谷彰造さん(㊦)が出場した。自身の団体の紹介を交え「ミュージカルと時代劇で町を盛り上げたい」と宣言。「レ・ミゼラブル」の劇中歌「民衆の歌」を力強く歌い上げ、優秀賞に選ばれた。

大会は、同会館の指定管理者が主催。カナダへの留学を控える大成高校グロ-

バルフューチャーコースの一年生も運営を手伝った。

(寺田結)

◇他の出場者の皆さん 奨励賞 小出諭美▽敢闘賞 後藤由紀子、斉藤圭吾、五十君寧々花・林桃花ヘア